

# 令和4年度「夢や希望を育て未来を築く教室（ふるさと先生）」実施要項

福井県教育庁 高校教育課

## 1. 目的

福井県にゆかりがあり各界で活躍されている方に「ふるさと先生」として授業をしていただき、グローバル社会での相互理解をどう考えるか、人口減少時代における地域活力をどう生み出すかなど、これからの日本や福井のことを考え、社会のためにどのような役割を担うことができるか、そのために何を学んでいくべきかを、高校生一人ひとりが考えを深める機会とする。

## 2. 内容

- (1) 日時 令和5年1月27日（金）  
① 15：30～16：15 （講義および実践35分 質疑応答10分）  
② 16：20～16：50 （看護師のお話10分 座談会形式で質疑応答20分）
- (2) 場所 福井県立丸岡高等学校  
① 視聴覚室  
② 教室
- (3) 講師 中川 直美 氏（鯖江市出身）  
元宮内庁病院看護師長・小笠原流礼法師範
- (4) 演題 ①「今こそ大切にしたい 日本の礼儀作法と心」  
宮内庁病院の看護師長など宮中で長年お勤めになり、現在は小笠原流の礼法師範としてもご活躍されている中川先生から、日本古来の礼儀作法やおもてなしの心を学びます。  
②「看護の生きがい」  
ご自身の看護師としての体験等をお話し頂いた後、参加者からの疑問質問にお答えいただきます。（座談会形式）
- (5) 対象 ① 1・2年生参加希望者 32名 ※「みらい☆タイム」の時間内で実施  
② 看護系進路希望者 16名

## 3. 講師略歴

### 中川 直美（なかがわ なおみ）氏

福井県鯖江市出身。看護師として福井赤十字病院に勤務。日本赤十字社より宮内庁に派遣され、皇太后宮職、東宮職、三笠宮家と長年にわたり看護師長として皇族の方々の医療看護に従事する。東日本大震災後は、福島県いわき市において、避難住民の健康支援にも尽力した。現在は、「和 yawaragi 塾」を主宰し、日本古来の礼儀作法を通して、その真髄である思いやりの心を伝える傍ら、看護大学において後進の育成にも携わっている。